



ほりかね道

狭山市立堀兼中学校便り
令和7年度4月号
発行者 和田 雅士

入学、進級おめでとうございます！ 生徒が愛すべき学校を目指して！

揚げひばりの高鳴きが、堀兼の里に響きわたる良い季節となりました。正門右手にある令和6年度の卒業生が植樹したミツバツツジも花を咲かせ、本格的な春到来です。生徒も生命の力強い息吹を感じる季節の中で、期待に胸を膨らませ、志を立てて、今日という日を迎えたことと思います。

今日は、お子さまのご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

4月は、世の中の様々な分野において、新しい顔ぶれで新しい心でスタートを切ります。学校も同じです。生徒も同じです。「今年は〇〇で自分を伸ばそう！」、「〇〇で自分を変えよう！」と、どの生徒も新しい気持ちでスタートさせたいと強く思っているはずです。又、去年までうまくいかなかったけど今年は違うんだ、気持ちの上で生まれ変わって頑張ろうという「新生欲求（出直し欲求）」が高くなる時期です。まさに、子どもたちは今、個人差はあれ前向きな気持ちを抱き、足を前に出そうという心が備わっているのだと思います。そんな気持ちのある今日の入学式、一学期始業式をチャンスと捉えて一日を過ごすことを願っています。



正門のミツバツツジ

私たち教職員は、堀兼中学校が生徒にとって学びを楽しくすすめる場であり、生徒が心から愛する場となるよう社会の変化に対応しながら教育活動に努めていく所存です。保護者、地域の皆様には子どもを学校に「任せる」という意識ではなく、「共に育てる、導く」という気持ちでご協力とご支援をお願いできればと切に願っています。よろしくお願いいたします。

令和7年度学校経営方針



学校教育目標	「共に学び、共に伸びる学校」
経営方針	「生徒の知性、感性、品性、行動力を磨く学校づくり」
めざす生徒像	「感性と品性を備え、知性を行動に活かす生徒」

令和7年度の指導の重点 *令和7年度は特に感性磨きに重点

【学習】	文脈から考え、先を想像し、感じたことを表現する力の向上
【生活】	身近な事、人に感謝し、自分の決断に責任をもつ行動

4月28日(月) 堀兼中の開校記念日 (*授業日です) 今年で開校79年目です！

◆「校章の由来」について

昭和24年(開校3年目)に制定されました。校庭にそびえる「くすのき」(現在の堀兼小)をモチーフにその葉を正三角形の安定した形に配置し、その上に「堀兼」の地名の起源となった堀兼の井の形をのせて堀中を表したそうです。くすの木は常緑樹なので、「いつも若々しく、そして郷土を大切に作る人に育って欲しい」という願いが込められています。

[illegible]



校舎窓から見える慰霊碑のさくら

令和7年度、本校教職員一丸となって、ふる里堀兼とともに子どもたちが大好きになる学校づくり、そして自己有用感を感じる学校づくりに努める所存です。よろしくお願いします。

堀兼中学校職員一同